

次のおいしさへ。 JAめむろ

夢あじり

2024.

8

vol. 612



トップニュース

各種懇談会開催のお知らせ

JAめむろ
Instagram



JAめむろ
HP



第35回農協杯ゲートボール大会 睦親和会チームが優勝！

6月26日、芽室町健康プラザで第35回農協杯ゲートボール大会が開催され、10チーム56名が参加し熱戦が繰り広げられました。

当日は、廣江組合長の開会挨拶の後、手島旭芽室町長にご祝辞をいただきました。

各コートでは、日頃の練習成果を競いながらリーグ戦が進められ、睦親和会チームが優勝を飾りました。

成績は下記の通りです。

優勝	睦親和会チーム
準優勝	上美生チーム
第3位	祥栄チーム
第4位	弥生チーム



優勝の睦親和会チーム



準優勝の上美生チーム



あぐり広場

農事組合 ▶ 上伏古
氏名(年齢、就農年数) ▶

宇野翔一朗さん
(22歳、1年目)

経営主 ▶ 宇野克彦さん



◆趣味、特技は何ですか？

スノーボード、釣り、車

◆自分の性格を一言で表すと？

思い立ったらまっしぐら

◆モットーは何ですか？

千里の道も一歩から

◆尊敬する人は？

父

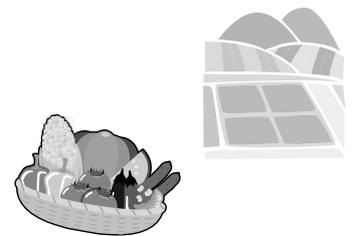
どんなに忙しくても営農活動や経営をこなしており、改めて私にとって憧れの人であるため。

◆農家になって思うことは？

今年から就農させていただき、まだ日は浅いですが手伝っていた頃とは一つ一つの作業の見方がわかり、農業というのはすごく難しいと感じる反面、やりがいもすごく感じています。

◆将来の目標は？

将来的には規模拡大と作付品目を増やしていき、立派な宇野農場の当主になりたいです。



青年部夏期視察研修

7月2日～3日の2日間の日程で夏期視察研修をおこないました。

ポリシーブックの課題をもとに視察先と行程を決定し、1班（川東・川北支部）と2班（川西・新生支部）に分かれて視察しました。2日目は1班と2班が合同となり、2日間で全4か所を視察しましたので、各視察先の研修報告を掲載いたします。

第1班 【研修担当者】

森浦 大介（川東支部）
参加者40名

【研修先】

日産化学株式会社 札幌オフィス

【概要】 日産化学は、機能性材料（電子・無機・有機）、ライフサイエンス（農業・医薬）、化学品の3つの事業領域でグローバルに製品・サービスを提供するとともに新材料・新事業を創出することをミッションとし、新材料の実需化を進めています。



【感想】 日産化学株式会社は、日産化学農薬製品部門とラウンドアップ部門に分かれた形態となっており、それぞれの部門について説明していただきました。

日産化学農薬製品部門はラクサーやポルト、グリーンダイセンなど防除で使用している農薬について学び、作物に作用する成分や使用方法、散布後の経過などを理解することができました。ラウンドアップ部門は商品の特長や歴史、比較試験結果などを説明していただき、普段使用しているラウンドアップの理解を深めることができました。質疑応答では農薬の混用使用についての質問が多く、参加した盟友の意欲が感じられる研修となりました。

第2班 【研修担当者】

土屋 将貴（川西支部）
参加者37名

【研修先】

有限会社大塚ファーム

【概要】 大塚ファームは、石狩郡新篠津村で農薬や化学肥料に頼らずに約30品目の高品質な有機野菜を栽培し加工、販売をしています。外国人労働者や研修生の受け入れ、障がい者の働き場作りなど農福連携にも力を入れています。



【感想】 有機野菜を作り、それを加工、販売するまでの様々なこだわりと情熱を感じることができました。農業に対する考え方や姿勢は参考になることが多く、自分の経営に活かしたいと思いました。農業経営という視点以外にも企業経営、人材育成、農福連携に力を入れていることも魅力を感じました。

第1・2班合同

<p>【研修担当者】 寺町 和成 (川北支部) 参加者77名</p>	<p>【研修先】 J A北海道中央会</p>
--	----------------------------

【概要】 J A北海道中央会は、北海道のJ A及び連合会 (J A北海道信連・ホクレン・J A北海道厚生連・J A共済連北海道) を会員とし、会員の健全な発達を図ることを目的とし設立され、農協法に基づく農業協同組合連合会として位置づけられている団体です。



第1班

【感想】 食料安全保障を取り巻く情勢とJ Aグループ北海道の取り組みについて講義していただきました。食料・農業・農村基本法改正による変更点や食料安全保障の強化と持続可能な農業の確立に向けて、我々農業者やJ Aグループ北海道としても農政運動を強化していく取り組みを進めることが重要だと感じました。



第2班

<p>【研修担当者】 田中 佳貴 (新生支部) 参加者77名</p>	<p>【研修先】 北海道大学農学部</p>
--	---------------------------

【概要】 北海道大学農学部は、農業、環境、バイオサイエンスの教育と研究をおこない、特にスマート農業に重点を置いています。ロボットトラクターやAIを活用した先進的な農業技術の開発を目指しています。



【感想】 ロボットトラクターやAIを活用したスマート農業の最新技術を学びました。特にAIを駆使したロボットトラクターのデモ見学が印象的であり、実践的な技術の可能性を実感する貴重な機会となり、数年後のスマート農業の発展が楽しみになりました。

「芽室花火 華音2024」に出店しました！

7月13日～14日に芽室公園でおこなわれた「芽室花火 華音2024」と「前夜祭」に出店し、「めむろゴールドクラフト」「えだまめ」「ポップコーン」「わたあめ」を販売しました。

出店した2日間とも天候に恵まれ、多くのお客様に芽室町農業の魅力や芽室産農産物、青年部をPRすることができました。



4年ぶりの開催！

JAコスモスの会 第75回茶話会

JAコスモスの会では、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを目的に、80歳以上の方を対象にした茶話会を開催しています。今回は6月26日に上伏古・坂の上地区を対象に第75回茶話会を開催し、15名の方に参加いただきました。

自己紹介のあと、町の保健師さんによる血圧測定や、その合間を使って折り紙やぬりえ、チラシパズル、最後はYMCA体操をおこないました。ゲームをしながら参加者同士の交流を深めることができ、楽しいひとときとなりました。最後に参加された方へえだまめ大福をプレゼントして第75回茶話会を終了しました。



茶話会のようす

出資配当金・事業分量配当金を振込みました

過日開催された「第29回通常総会」で承認いただきました剰余金処分案に基づき、7月29日付で組合員の皆様の口座へ出資配当金及び事業分量配当金を振込みさせていただきましたのでご確認ください。

なお、出資配当金につきまして、「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」に基づき、従来の『所得税』20%に『復興特別所得税』0.42%が加算され源泉徴収されております。

芽室町生食スイートコーン生産組合 役員道外視察研修

6月17日～18日までの2日間、芽室町生食スイートコーン生産組合役員5名、事務局1名にて東京新宿ベジフル株式会社、東京青果株式会社の2市場で視察研修を実施いたしました。

今年度の研修は、関東地方の市場2か所を視察し、現在の販売情勢や生育状況など産地の状況についての意見交換をおこないました。

現在のスイートコーンの販売情勢は、不作傾向が続いた九州産から近郊産地へと出荷が切り替わるタイミングのため、出荷数量の急増に伴い市況も低迷気味であるとのことでしたが、北海道産が開始される8月までには市況は回復するのではないかとのお話を伺いました。

各市場より「めむろ産スイートコーン」は量販店からの認知度は非常に高いとの評価をいただき、今後も継続して良品質なスイートコーンを出荷することを強く要請されました。



芽室町枝豆生産組合 販売先訪問研修

6月17日～19日の3日間、芽室町枝豆生産組合役員で『株式会社ノースイ（本社、大阪支店）、『日本生活協同組合連合会（CO-OP）』を訪問し、冷凍加工用《えだまめ・さやいんげん》の輸入品の動向や販売情勢などについて確認し、より一層の販売促進に取り組んでいただけるようお願いしてまいりました。

輸入品の動向は、円安の影響を受け国産品との価格差は縮まってきており、本年産の輸入相手国の作柄は不作により絶対量が不足する見込みであるため、国産品の強みである品質面を強く押し出していくことや、業務用の販路拡大などの取り組みにより、引き続き販売伸長に向けて取り進めていきたいとし協議をおこないました。



「CO-OP」との協議



「(株)ノースイ大阪支店」との協議

中堅夏期視察研修 ～静岡県伊豆・浜松方面～

6月11日～13日、中堅夏期視察研修が部員57名参加のもと実施されました。コロナ明け初の道外研修となった今回は、静岡県伊豆・浜松方面を視察しました。

1日目は、かねふくが運営する明太子専門のテーマパークである「めんたいパーク伊豆」を視察しました。ミニゲームを通して明太子の知識を深めながら工場見学ができるコーナーでは、一つ一つ手作業で検品している様子などをガラス越しに見学することができました。

2日目は、浜名湖畔の自然の地形を活かして作られた植物園「はままつフラワーパーク」を視察しました。「人・自然・テクノロジー」の融合をテーマに、360度映像を体感できる特設シアターが設営されており、四季折々の花々を体感しました。

3日目は、「航空自衛隊 浜松広報館 エアパーク（以下、エアパーク）」と「うなぎパイファクトリー」を視察しました。「エアパーク」では、歴代の戦闘機や航空機などの展示や、ブルーインパルス飛行時の隊員の視点体験など、普段目にする機会の少ない航空自衛隊の取組みを体験することができたと好評でした。「うなぎパイファクトリー」では、ガラス越しにうなぎパイの製造過程を見学しました。ガーリックなどが入った秘伝のタレが塗られていることなどの情報も知り、参加者は、興味深く見学していました。



はままつフラワーパーク 快晴でした♪



エアパーク 圧巻！戦闘機・航空機の展示

もみじ会夏期視察研修

6月19日～20日の1泊2日でもみじ会夏期視察研修が会員33名参加のもと実施されました。

1日目は、当別町にある「ロイズカカオ&チョコレートタウン」を視察しました。この施設は、ロイズの工場に併設された体験型施設となっており、カカオの生育過程や、収穫後に加工されてロイズの店頭で並ぶまでを学ぶことができました。参加者は、カカオが枝だけでなく幹にも直接果実が実る「幹生果」であることなど、身近な農作物との違いに驚きながら見学を楽しみました。

2日目は、今年4月にリニューアルオープンした「札幌市青少年科学館」を訪れました。展示物や体験を通して、日常に潜む身近な事象について五感で学びました。参加者からは「孫を誘ってまた来たい」などと好評でした。

最後は、ココノスキノにてお買い物も楽しみ、充実した研修となりました。



ロイズカカオ&チョコレートタウンにて



青少年科学館 北海道の気象について学ぶ

女性部 役員・支部長合同視察研修

7月4日、女性部役員支部長合同視察研修がおこなわれ、24名が参加しました。

中堅役員を中心に視察先の選定をおこない、めむろワイナリー(株)と北海道農業研究センター芽室研究拠点の2か所を視察しました。

めむろワイナリー(株)では、醸造家である尾原基記氏の案内で醸造設備の見学や商品製造までの流れを学びました。取締役である菊地英樹氏も同席いただき、製造に至った経緯や想いについて伺うことができました。

北海道農業研究センター芽室研究拠点では、寒地畑作研究領域長補佐 片山健二氏より「馬鈴しょ育種の概要」をテーマに講義いただいた後、施設見学をさせていただきました。品種改良の仕組みや、農家の手元に種イモが届くまでの流れなどを講義や見学を通して、時に驚きの声を上げながら知識を深めました。



めむろワイナリー(株)にて



「馬鈴しょ育種概要」を学ぶ

フレッシュミズ夏期視察研修

7月9日～10日の1泊2日でフレッシュミズ夏期視察研修が部員31名参加のもと実施されました。

1日目は、サッポロビール博物館を視察し、展示物を通して、サッポロビールの歴史などをじっくりと学ぶことができました。サッポロビール札幌工場で使用されていた煮沸窯も展示されており、その大きさに驚きの声が上がっていました。2日目は、千歳市防災学習交流センターそなえーるを見学しました。地震体験や煙避難体験、案内説明員の方からのお話を通し、身近に潜む危険や対処法についてを学び、防災意識を高めました。



東京へは、氷付きで低温で輸送…
(サッポロビール博物館)



防災意識が高まりました！
(千歳市防災学習交流センターそなえーる)

第3回 費用の話① ～ 直接費と間接費

直接費と間接費

費用は、大きく直接費と間接費に区分できます。これらを分けて整理することで、農産物の原価を計算することが可能になります。今回はそれぞれの意味することについて紹介します。

直接費とは

直接費とは、製品（生産物）やサービスを生み出すために直接的に関与する費用のことです。農業の場合、作物の栽培に必要な種苗や肥料、農薬などの費用が該当します。

直接費の削減効果はわかりやすく、効果は目に見えて大きいことが多いのですが、生産物の収量や品質と直に結びついているため、収入にも影響を及ぼします。

間接費とは

間接費とは、直接的には製品（生産物）に組み込まれない費用のことです。農業の場合、機械費、動力光熱費、販売経費、雇用労賃などが該当します。

間接費は、直接費と比較して分類される費用の種類が多く、少額なものも多いです。直接農産物の収量や品質に結びつかないため管理自体が難しく、削減効果が見えにくいのも特徴です。また、特定の作物に限定されないものが多く、作物別での整理は簡単ではありません。

作物ごとの傾向

経営分析データより、費用の合計に対する直接費、間接費の割合を作物別に整理しました（図1）。作物によって費用の総額は当然違いますが、その構成についても異なります。たとえば、てんさいは多くの肥料が必要な作物ですので、直接費の割合が多くなります。一方、野菜類は販売費用（選別加工料、販売手数料など）がかかるため、間接費の割合が多くなります。

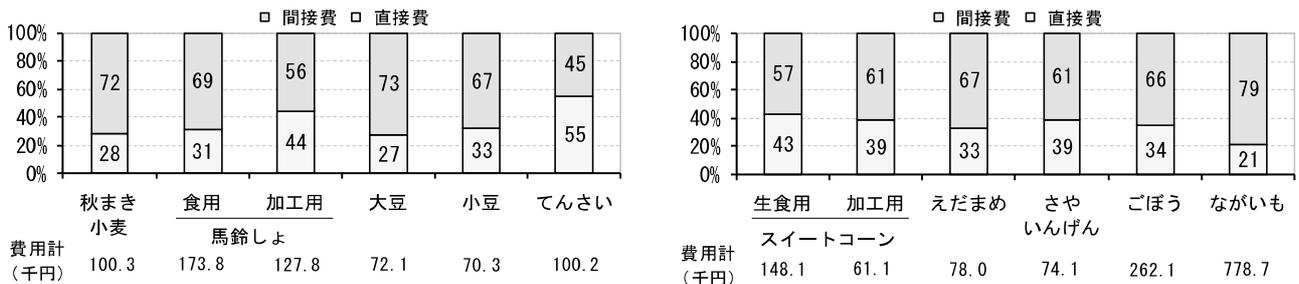


図 作物別間接費直接費比率 (令和5年度) 左：畑作品目 右：野菜類
注) 費用は10aあたり。

費用を捉える

費用を分析する場合、まず、どの科目の割合が多いのかを確認します。次に、割合が多い科目に着目し、当初計画（予算）と比べてどうだったのか、他者や指標と比べて多いのか少ないのか、昨年と比べて増えているのか減っているのか、を捉えることが必要です。

注意しなければならないのは、費用の増加は必ずしも“悪”じゃないということです。収益増を目指す時、たいていの場合には費用の増加が伴います。

ただし、費用の増加が収益の増加、所得の増加に結び付いていない場合は、今一度見直す必要があるでしょう。

秋まき小麦肥料の予約申し込みに向けた 土壌分析をおこないましょう！

畑の養分状態は、毎年少しずつ変化していくことから、定期的に土壌分析をおこない確認することが望まれます。また、ほ場内で恒常的に生育の悪い部分がある場合は、その場所と比較となる良好な場所の土壌を分析することで、改善点を見出すことができるかもしれません。土壌養分状態を確認し、適正施肥及び生育の均一化を図りましょう。

2月には、「令和8年産秋まき小麦肥料の予約申し込み」が始まります。肥料の申し込みは、土壌分析結果を活用した施肥設計をおこなうことが重要であり、資材の適正使用及び施肥コストの低減に繋がりますので、積極的に土壌分析をおこないましょう。

なお、冬期は分析サンプルの申し込みが集中するため、分析結果の返却までに時間が掛かることが予想されますので、早めの提出をお勧めします。

分析サンプルの取り扱い

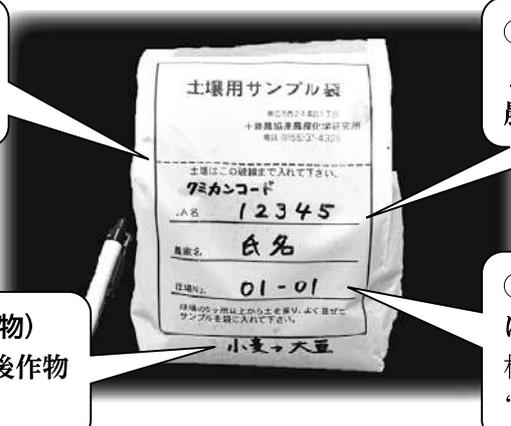
1 採取時期

- 土壌の採取時期は、作物の収穫後が基本となりますが、混雑を避け、余裕をもって結果を活用したい場合は、**収穫前に、肥料の影響を受けにくい畦間から採取して提出することも可能です。**

2 提出方法

- 採取した土壌は、十勝農協連指定の土壌用サンプル袋に入れてください。
- サンプル袋は、農業振興センターに用意しています。
- サンプル袋には、下記のとおり必要事項を記入してください。

<専用サンプル袋 記入例>



① 分析土壌の量
サンプル袋の表面に示す破線
まで入れてください

② 組勸コード・名前の記入
JA名 → 組勸コード
農家名 → 氏名

③ ほ場番号
ほ場No. → ほ場番号 - 枝番
枝番は指定がない場合、すべて
“01”となります

④ 前作・後作物（作付予定作物）
空きスペースに前作物 → 後作物
を記入してください

土壌用サンプル袋
※この袋に記入して下さい
十勝農協連 農業振興センター 受付
〒085-0802 十勝郡 十勝町 十勝町 1-1-1

※この破線まで記入して下さい。
7ミカンコード
JA名 12345
農家名 氏名
ほ場No. 01-01
※ほ場の5ヶ所以上から土をとり、よく混ぜて
サンプルを袋に入れて下さい。
小麦 大豆

芽室町新農業経営者育成システム 第29期生募集中

令和7年4月に採用する育成システム研修生を募集しています。

応募締切りは9月30日（月）まで、応募資格や採用日程などの詳細は夢あぐり7月号に掲載しています。希望される方、研修内容を詳しく知りたい方は、営農部 営農情報課へお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 営農部 営農情報課 TEL 62-2313

ストップ! ⚠ 農作業事故

これから馬鈴しょなどの収穫時期に入ります。
一人ひとりが十分注意し安全な農作業につとめましょう!

【8月の作業でこんなケガが報告されています（過去4カ年抜粋）】

機械作業では

- △ 玉ねぎの機械の製品ラインをセッティング中、機械が倒れてきたので手で支えようとしたが重くて支えきれず、右足に落ちてしまい骨折した。
- △ 草刈り機を使用して草刈り作業中、スズメバチに刺された。
- △ スイートコーンの収穫作業中に軽トラックがはまり、救出のためけん引ロープを付け別の軽トラックで引っ張った際にロープの金具が外れ、左脛にあたり開放骨折と診断された。
- △ ポテトハーベスターの機上で選別作業中、吐き気・めまいが生じ、氷で冷やすなどの応急処置をおこなったが、意識障害・呂律が回らなくなる・手足の痺れなどの症状も出てきたため、救急車で病院に搬送され、熱中症と診断された。
- △ スイートコーンの収穫作業中、ハーベスターの詰まりを取ろうとした際に左手親指を切った。
(機械が動いている時に取ろうとしてしまった)
- △ 玉ねぎハーベスターを掃除している際、誤ってハーベスターを動かしてしまい、右手を巻き込まれ右肘の捻挫と診断された。

その他の作業では

- △ 木材の加工中に電動カンナの高速回転部に右手中指が触れてしまい、指先端の欠損となった。
- △ 木の伐採をしていた時に上部にハチの巣があることに気が付かず、キイロスズメバチに襲撃され左太ももと頭部の2カ所を刺された。
- △ 鎌を使用してスイートコーンの穂切り作業中、誤って左手人差し指の付け根を切った。
- △ スチームチェスト出口でのコーンの詰まりを解消するため、ハンマーで叩いた際に誤って左手親指を叩いてしまい打撲した。

家畜管理作業では

- △ 牛のロープを引く時に、ロープが緩んだ弾みで転倒し、左膝蓋骨折と診断された。
- △ 牛の去勢作業中、牛が足を降ろした際に左足のくるぶし付近を踏まれ打撲した。

機械詰まり除去は必ずエンジンを止めてから!!

収穫作業において、農業機械の詰まり除去時の巻き込まれ事故が毎年数多く発生しています。
簡単な除去作業であっても必ずエンジンを停止し、十分な安全を確保して作業しましょう。

◇ 労災に関するお問い合わせ先 ◇

営農部営農情報課 TEL 62-2313

使用済み資材の回収

各種使用済み資材の回収を実施いたしますのでご利用ください。

1. 第3回農業用廃プラスチック資材回収

- (1) 回収日時 8月21日（水） 8：40～16：00
（12：00～13：00は昼休みとなります）
地区割 午前：川東地区 午後：川北地区、川西地区
※開始時間前の荷降ろしは対応できませんので、ご理解のほどお願いいたします。
- (2) 回収場所 農産部小麦受入施設（計量後受入）
- (3) 処理費用 個人負担として24円/kg（税別）を徴収いたします。
- (4) 注意事項
 - ・混雑を避けるため、地区指定時間での持ち込みをお願いいたします。
 - ・使用済みフレコンパックに入れてお持ちください。
 - ・一般家庭ごみなど回収できないものは絶対に入れないでください。

2. 第2回農薬空容器回収

- (1) 回収日時 8月22日（木） 8：40～16：00まで
（12：00～13：00は昼休みとなります）
- (2) 回収場所 芽室町西4条南1丁目 資材倉庫前（計量後受入）
- (3) 処理費用 個人負担として24円/kg（税別）を徴収いたします。
未洗浄ボトル分は実費を徴収いたします。
- (4) 注意事項
 - ・ポリ容器、水和剤などの袋、紙袋、ビン容器、缶スプレーは必ず分別して農薬空容器回収袋に入れてください。また、ダンボールは縛ってお持ちください。
 - ・回収袋は購買課で無料配布しています。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく罰則

廃プラスチックの不法投棄、不法埋立て、野焼きは違法であり農業者の責任で適正に処理することが義務付けられています。これに違反した場合の罰則は5年以下の懲役、1,000万円以下（法人は3億以下）の罰金若しくはその両方が科せられます。

※農薬空容器・廃プラスチック運搬時には、産廃運搬車の表示を荷台の左右に必ず貼ってください。

《JAからのお願い》

農業用廃プラスチック資材回収につきまして、回収対象外のもの絶対に入れないでください。

“農業用”廃プラスチック資材回収ということ十分に理解いただき、モラルある排出をお願いいたします。

掲載した写真は6月に実施した廃プラ回収で搬入された物の一例です。衣類、金属類、写真にはありませんが、針の付いた釣具など、**基準を無視した物の混入**が見られました。

これまで廃プラ回収の度に回収業者から強く指摘されており、ご協力をお願いしてまいりましたが、状況は改善されていません。業者からはフレコンパックへのコード番号、または名前の記載を求められており、実際に記載が義務化されたJAもあります。

今後もルールが守られない場合、フレコンパックへの記載の義務化、処理単価の値上げ、または回収自体が拒否される可能性がありますので、ご協力をお願いいたします。

◎回収対象外の混入物 一例



衣類



鎌



ドライバー



ケーブル・基盤

※回収の度にフレコンパックの落下報告を受けています。交通事故の原因にもなりますので運搬時の落下防止対策の徹底をお願いいたします。



8・9月 購買事業カレンダー

日	曜日	行 事
8月3日	土	閉所（農薬引渡しのみ 8：40～12：00）
8月4日	日	閉所
8月5日	月	
8月6日	火	
8月7日	水	
8月8日	木	
8月9日	金	
8月10日	土	閉所（農薬引渡しのみ 8：40～12：00）
8月11日	日	閉所
8月12日	月	閉所（農薬引渡しのみ 8：40～12：00）
8月13日	火	
8月14日	水	
8月15日	木	お盆休業
8月16日	金	
8月17日	土	閉所（農薬引渡しのみ 8：40～12：00）
8月18日	日	閉所
8月19日	月	

日	曜日	行 事
8月20日	火	
8月21日	水	農業用廃プラスチック資材回収
8月22日	木	農薬空容器回収
8月23日	金	
8月24日	土	閉所（農薬引渡しのみ 8：40～12：00）
8月25日	日	閉所
8月26日	月	
8月27日	火	
8月28日	水	
8月29日	木	
8月30日	金	
8月31日	土	閉所
9月1日	日	閉所
9月2日	月	
9月3日	火	
9月4日	水	
9月5日	木	

初級職員 組合員宅研修報告

先月号に引き続き、初級職員の組合員宅研修の様子を掲載いたします。

①研修先 ②主な研修内容 ③研修を終了して今後の抱負 ④お世話になった研修先に一言

所属部署：農産部 労働支援対策課 氏名：佐藤 駿成

- ① 博進 松久 正人 様 宅
- ② 長いものポール立て、ネット張り
- ③ 今回の研修を通して、改めて農作物ひとつひとつを生産する大変さを学びました。初めて長いもの作業に携わり、それぞれの作業に対する正確さや効率性などを考えることが多く、良い経験になりました。この研修の学びを通じて、今後はどのような業務でも常に課題や疑問を持って取り組みたいです。
- ④ このたびは研修の受け入れをいただき、ありがとうございました。様々な作業をおこない、農作物を作ることの大変さを知る機会となりました。至らない点多々あったかと思いますが、わからないことも丁寧に指導いただき、安心して作業をおこなうことができました。この経験を今後の業務に生かしていきたいと思います。秋の研修もよろしくお願いいたします。



所属部署：農産部 青果課 氏名：清水 雅仁

- ① 中伏古 白川 茂 様 宅
- ② 長いものポール立て、ネット張り
- ③ 研修期間は長いもの栽培にかかる様々な作業に携わり、農作業の大変さと仕事のやりがいを理解する機会となりました。今後は組合員の方々と接する機会も増えてくるため、積極的にコミュニケーションを取り、苦労や悩み、農業に対する考えなどを理解し、少しでも組合員へ還元できるよう幅広い知識を身に付けていきたいと思っています。
- ④ 研修期間は大変お世話になりました。何も分からない状態で作業に入りましたが、作業方法などを丁寧に教えていただき、徐々に環境に慣れていくことができました。また、温かく迎え入れていただき、楽しみながら仕事に携わることが良い経験になったと感じています。この研修を経て成長できたと思います。本当にありがとうございました。

所属部署：営農部 農業振興課 氏名：鈴木 翔琉

- ① 栄 松浦 輝行 様 宅
- ② 長いものポール立て、小豆は種作業、小豆・えだまめの種子消毒
- ③ 今回の研修では、農作業を体験させていただくだけでなく、その作業の目的や作物生理について実際の現場で学ぶ貴重な機会となりました。さらに、松浦様をはじめご家族の皆さまとの交流を通じて、JA職員としての在り方を自覚する機会にもなりました。短い研修期間でしたが、その中で得た知識と経験を今後の業務に少しでも生かせればと思います。
- ④ このたびは、お忙しい中にも関わらず貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。皆さまが温かく迎え入れてくださったおかげで、充実した研修期間を過ごすことができました。この研修で得たことを生かし、今後は少しでも皆様のお役に立てるような職員を目指してまいります。秋の研修もよろしくお願いいたします。



理事会だより

第3回（6月14日開催）

- ・議案第1号 組合長理事の決定について
- ・議案第2号 会長理事の決定について
- ・議案第3号 専務理事、常務理事、理事の職務代理順位、各委員会・関係機関等の委員の決定について
- ・議案第4号 代表理事の選任について
- ・議案第5号 信用担当理事、審査担当理事の使用人兼務の決定について
- ・議案第6号 ジェイエイめむろフーズ（株）役員候補者について
- ・議案第7号 常務理事の事務引継に伴う立会人の指名について
- ・議案第8号 理事に対する組合員勘定制度及び短期貸付金について

第4回（6月21日開催）

- ・議案第1号 行政庁提出用業務報告書について
- ・議案第2号 理事会の傍聴について
- ・議案第3号 令和6年度各種懇談会の開催について
- ・議案第4号 令和6年産小麦の受入方法と乾燥体系について

報告事項

- 1 主要なる内部及び外部会議の概要について
- 2 専務理事の事務引継ぎについて
- 3 令和5事業年度末JA財務モニタリングについて
- 4 令和5事業年度末体制整備モニタリングについて
- 5 組合員の加入・脱退状況について
- 6 令和6年度JAバンク経営戦略シートについて
- 7 利益相反取引に係る貸付報告について

連載JAの基礎【報徳編】

第21回 協同組合と報徳Ⅵ

◆日本的農・漁業協同組合の特徴◆

日本の農・漁業協同組合で注目すべき点は（1）総合事業をおこなっていること、（2）戦前戦後の農漁民運動の伝統を引き継いでいることの2点にあります。

協同組合における総合事業とは、信用事業を兼営する場合がありますが、我が国では経営面での販売購買や信用事業だけでなく、共済や生活資金の供給など農村生活に必要なすべての事業（時には医療や冠婚葬祭も含む）をおこなっていることが特徴です。農漁村の組合員は、農村社会の中心に協同組合を位置づけており、そのことによって事業面でも総合的な展開が求められるようになっているのです。

一方、戦前・戦後の農・漁民運動が協同組合の運動に大きな影響を与えました。特に戦前の産業組合や農民組合などの農民運動に加えて、戦後の北海道では報徳組織が大きな影響を与えました。自立した組合員による協同組合をめざした取り組みは、困難な歩みであったことが諸先輩方の言葉からうかがわれます。

青年は尊徳を手本に「働き・勉強」せよ

報徳は現代に通用しないとゆう人がいるが、尊徳の時代の幕末窮乏が現代の経済情勢とは余りにもかけ離れており、政治も経済もほとんど野放しの状態で困苦艱難（困難に出会って悩み苦しむこと）してやった結果、偉大な業績を残したことを知らない人の言い分だと思ふ。

だから、今日の農漁村の青年はそれと比べたら、制度が整い過ぎていて、他力本願になる恐れさえあるくらいだ。何も悲観することはない。とにかく青年は「働かなければいけない」そして「勉強しなければいけない」

（元北海道信漁連会長 安藤孝俊翁語録）

らん、わしも後余り長いこともないのでどうか頼みます。之も買収された筈だつた。

△**農地委員活動**▽
 今度の農地改革は日本自らの力の改革とは云えない。然し我々は最も慎重によく調査をし少くとも地主に事情を理解してもらつて之を遂行後の世に悔を残す様なことは出来ない。

田島福次郎さんは委員中の大地主であり此の事業には地主代表とし法律を達観し大乗的に協力し委員各位からも敬意を表された。

町内隔なく馳巡つて費した日数も莫大なものであつた。その苦勞の程が今尚しのばれる。

新美生の土地調査の時夕刻になり陽が山脈に近づいて尚調査を続けていると、ソバの穂がくちやくちやくにされ熊だ熊だと云つていて、今たれた様な糞に出逢つた。ぞつとした。

こんなことは山麓に住む人はへつちやらだ、と笑われるだろうが。

△**農業委員会による交換分合**▽
 農地の買収売渡し後は農業経営改革への前進で通常の農地調整は常時事務として取扱われ事業的には交換分合による農地の集団をはかり経営上の無駄を省いて合理化を図る。趣旨目的は良いし賛成はするがいざとなると、あばたも笑くぼとやら自分の土地がよく見えて仕方がない。又窓が一枚加つて第三者の意見が耳に入らない。その上土地に連なる人との歴史は開拓以来のいわくいんねんがある。

図上で見る耕作地が散乱していて農業委員会が手を染め始めると、だからだと土地の歴史に始まり、昔からの取引に及ぶ。うちの親父が何々のときにあの野郎がぢやました。その土地を今あいつに渡すなんて、とても出来たことぢやないなんて。理由は千差万別その内に家庭争議に迄発展し今にも計画が総くずれになりそうだ。委員会は寝ないでねばる、その内に白髪のおぢいさん迄飛出して、俺の目の黒い内は誰が何んと云はうと、と云う様な始末で半年位、よくも委員の人も辛棒強くやつて呉れるものだ、その内地帯に有志が現われて助言誘導、まあまあと云う幾多のエピソードを残して出来上つた。昭和二十六年以来七五〇町歩数三十余戸の事業、心から委員各位の苦勞と努力に頭が下がる。

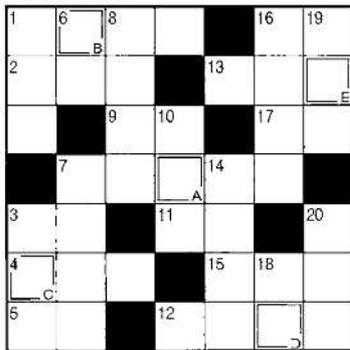
かくして積重ねられた実績が知事表彰となつて町には夜が明けるが如く、関係者は、まあよかつたあの時頑張つて申訳なかつた。今にして見れば何故あんなことを云つたのだらうというのが交換分合後の農家の声だつた。

(九月号につづく)
 (古田記)

パズル? 頭の体操

Q 二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

出題：ニコリ



※解答は9月号に掲載いたします。

7月号の解 ABCDE
 サルスベリ



→ 3つのカギ

- 1 トマトやスイカに含まれる赤い色素
- 2 海で水上——を楽しんだ
- 3 独特の香りから香魚とも書く川魚
- 4 無駄遣いをする事
- 5 セーラー服のものは大きめ
- 7 孫悟空の乗り物です
- 9 酒などを入れる四角い容器
- 11 ザーザー、しとしとと降ります
- 12 夏にはくズボン下
- 13 アップの反対語。イメージ——
- 15 パンダの遊具にも使われるゴム製品
- 16 小さな船を数えるときに使う言葉
- 17 MB=——バイト、GB=ギガバイト

↓ タテのカギ

- 1 文系より——系の教科の方が好きです
- 3 医者いらずと呼ばれることもある植物
- 6 数え年70歳の祝い
- 7 精霊馬に使われる野菜の1つ
- 8 肉詰めにするのも定番の夏野菜
- 10 コンビニエンス——、チェーン——
- 14 関西国際空港や中部国際空港は、——地に造られています
- 16 夏場によく食べられる麺
- 18 ——座は蠍(さそり)座と山羊(やぎ)座の間にあります。
- 19 パナマやスエズのものがある有名
- 20 エビに見た目が似ているすしネタ

解答欄				
A	B	C	D	E



農地解放の思い、出

昭和二十一年十月廿一日自作農創設特別措置法が公布になつていよいよ我が町にも小作地の買収に手を着けることとなり十二月廿三日に各階代表委員が選挙され小作層、地主層、自作層、と云つた具合にその代表も小作層五名、地主層三名、自作層二名と云つた委員数に於ても小作層の発言の特に強める様又表決の場合も決議権が常に小作層に握られる仕組に出来上つていた。

町内にはあちらこちらに小作組合とか自作農創設組合とか雨後のたけのこの様に申合組合が出来、あちこちの設立総会に招かれたものであつた。当時の諸戸町長さんは私を呼んで、君一つ此の仕事をやつて呉れ給へ。私も、しばし考えた。然し命令が出た以上、よしやつてやろうと立上つた。

△農地委員会機構の誕生▽

各委員の選挙による当選者が決り初代会長に現北海道農協中央会会長である芽室農協組合長高橋雄之助が互選され事務局は局長に現長谷川助役、主任に私が命を受け改革事業は滑り出した。

会長代理は大成の中村仲蔵現町議、委員には小作層酒井一性、野沢勝、寺本智、高橋雄之助、唯野政治、地主層田島福次郎、谷口権太郎、林外松の各位、自作層代理中村仲蔵、柴田桑三郎

事務局は昭和二十二年に現助役長谷川さんがパージにかかり故加藤助役更に現佐藤収入役が就任私が事務局局長を拝命、北山正潔、姫野常三郎、加藤繁氏、渡辺吉三郎、清野哲、後藤京子、松久菊治と云つたベストメンバーを揃へ大車輪を以つて八千町歩余の買収売渡は強行された。

職員夜の夜勤連続、書類配達督促の電報、進駐軍の厳命、道庁の何々係が進駐軍に怒られて首になつたとかいやはや目の廻る思い。

委員会は連日月余に亘る買収地の現地調査又売渡地調査、或時現地調査に山へ入つて行つて、歩いて歩き廻つて、昼食にありついたので午後三時半、地元の補助員に一升めしを喰ふ俺等を只引張り廻して馬鹿にするなど真赤になつて怒られたこともある。

十一月半ばに委員と共に部落会館にたき出し、借りふとんで一夜寒さのため眠れなかつた思いもある。田島委員さんに、お前(古田)と歩いたら足が早い、自転車は早いから年寄りの俺等は殺されてしまふとこぼされた。

又地図を調べたら高台の頂上に川が流れて居たり、てんで現地と合わない様な場面等、事務局職員は地方別担任区をきめ何れも同じ様な場面を繰返し委員各位と苦労を共にし改革事業が促進された。

△札幌軍政部将校と農地委員との懇談会▽

こういえば聞えがよいが、真相は当初十勝支庁会議室であつたのが軍政部将校の都合で当日の場所が急に変更になり帯広駅長室に於て午前十時五分から十時二十分まで行われた。大要、次の様な挨拶を述べ健康を害しているから長時間の懇談は出来ない。質問等があつたら用紙に書いて提出する様にとさつと引上げてしまつた。

△挨拶要旨(通訳より)△

今度公布せられた農地関係法規は日本農民を幸福にするための法律であるから各位は法律を最も能く理解し最も効果のある運営をし、その使命の重大さを認識し日本再建には農村の再建なくして望まれぬが、我が進駐軍としても此の農地制度の改革には最も関心を有し又その成行きを見守つている故に各位に於かれては特段の御努力をのぞむ、我々としては全道に亘り今後月に一回は道内を廻りその状況を観察する考えである。

では諸君の健闘を望む。

此の強い占領軍の要請に一言なく懇談会と称する一方的発言で終つたのであつた。

△未亡人、老人に泣きつかれる▽

私の夫が死ぬ時小さい子供等と共に枕元へ呼んで、

俺は若い若いが死んで行く、お前達は力を併せて家を守り此の土地が何如なることがあつても手離してはならない。之は俺の死出のためだと思つたのであつた。どうか今貸してある土地を買取しないで下さいと涙ながらに訴えたのであつた。それはやつぱり買取されたのだつた。その後十年その土地がどうなつていよう。気の毒だつた、その子達も今は成長して一人前になつていよう。

.....

わしは北海道へ来て喰うものも喰わず働いてうちの子供達が大きくなつたとき分家のために今は三戸分の土地は貸してあるが、この土地は何が何んでも買取されなかつたらどうして行くか、それを思うと北海道へ何の為に苦勞しに来たのかかわ

「緑のめぐみ館」からお知らせ

2024年
9月
開催

!! 参加者募集 !!

～J Aめむろ食育講座～

～十勝産小麦粉を使って～
 **料理講習会** 

時間 9:00～13:00

- ① 9月4日(水) パン(食パン他)
- ② 9月11日(水) 手作りとうふ
- ③ 9月18日(水) 肉まん
- ④ 9月25日(水) ソーセージ

定員: 各回10名 (終了は15:00頃)

参加料: パン 2,000円・とうふ 2,000円・
肉まん 2,500円・ソーセージ 3,500円

持ち物: バンダナ・エプロン・タオル・
マスク・お持ち帰り用器 

十勝産小麦粉を使って!
 **親子パン教室**

日時: 9月7日(土)

9:00～12:30 

メニュー: パン(手でこねこねしましょう♪)

定員: 親子10組(小学生以上)

参加料: 無料

持ち物: バンダナ・エプロン・タオル・マスク・器・
お子さんはきれいな長靴をご用意ください。 

「緑のめぐみ館」は、個人・団体・グループで気軽にご利用できる加工調理体験施設です。

◆お申し込み・お問い合わせ: 「緑のめぐみ館」TEL/FAX 0155-62-5379
芽室町東めむろ3条南1丁目「愛菜屋」東隣

ファーマーズマーケット 愛菜屋営業カレンダー

【8月の営業カレンダー】

8月							※8/12(月) 通常営業
日	月	火	水	木	金	土	
				①	2	3	
4	⑤	6	7	⑧	9	10	
11	12	13	14	⑮	16	17	
18	⑲	20	21	⑳	23	24	
25	⑳	27	28	㉑	30	31	

○印は定休日

8月が旬のスイートコーン♪
 8月9日(金)はスイートコーン
 祭りを開催!
 数種類のゆでスイートコーンも販
 売いたしますので、ぜひお越し
 ください!!

営業時間 9:00～17:00

全町統一農休日は、繁忙期の過重労働や農作業事故防止を目的に設定しています。

全町統一農休日

8月11日(日)

農作業事故は、収穫時期が本格化する夏から秋にかけ増加しています。

厳しい暑さの中での作業は、無理せず休憩・水分補給をおこないましょう。